

滋賀大学経済学部・データサイエンス学部後援会だより

発行／彦根市馬場一丁目1番1号 滋賀大学経済学部・データサイエンス学部後援会 発行責任者／村木雅直
URL: <https://www.econ.shiga-u.ac.jp/supporters.html>

目次	後援会会長、学長、学部長等挨拶・1～2	進学先・就職先一覧 10～11
	入学式 3	資格取得等報奨制度 12
次	入学状況 4	令和4年度決算 13
	大学紹介 5～6	令和5年度予算・後援会総会・役員名簿 . . 14
	学生活動だより 7	令和5年度学年暦・行事 15～16
	就職活動と支援・就職状況 . . . 8～9	

会長挨拶

後援会会長 村木雅直



村木後援会会長
この度、長年会長を努めて下さりました戸田茂様よりバトンを受け

け、今年度の会長を務めさせていただきます村木雅直です。後援会は、会員相互の連絡親睦を図り、勉学に留まらず学生生活のサポートをする組織だと認識しております。微力ではありますが、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

さて、新型コロナウイルスの発生により、学生生活においても、事業の中止や活動の制限がありました。今年度は、経済学部創立100周年を迎え、様々の行事が予定をされています。後援会としても盛り上げていこうと思っておりますので、どうぞご参加ください。

学長挨拶

竹村彰通



竹村学長
昨年4月に学長に就任して1年が経ちました。この4

月に文部科学省の「地域中核・特色ある研究大学の連携による産学官連携・共同研究の施設整備事業」に申

請していた滋賀大学の提案が採択され、彦根キャンパスに産学連携研究推進のための先端的な施設が建つ見込みとなりました。幸い新型コロナウイルス感染も一定の落ち着いてきた状況になり、感染対策を講じつつも活動制限もなくなり、キャンパスには学生の笑顔が戻ってきています。この秋には100周年事業のさまざまな催しも行われ、その準備も順調に進んでいます。保護者の方々も一度キャンパスにもお越しください。

経済学部長・

経済学研究科長挨拶

中野桂

平素より滋賀大学経済学部・経済学研究科の教育研究にご理解とご支援を賜り、ありがとうございます。経済学部は今年度創立100周年を迎えました。11月には記念式典を

迎えました。11月には記念式典をキャンパスにおいて執り行う予定です。この100年間には第二次世界大戦をはじめ、朝鮮戦争やベトナム戦争など大きな戦争がいくつもありました。現在もウクライナの戦争の最中にあります。微力ながら、本学の教育と研究を通じて、次の100年こそは戦争がなく、全ての人が幸福であるような世界が構築できるように目指していきたいと思っております。

データサイエンス学部長挨拶

椎名洋

データサイエンス学部長の椎名洋です。後援会の皆様には、常日頃か

ら暖かい御支援を賜り、お陰様で彦根キャンパスの学生生活の質の向上が少しずつ実現できておりますこと、改めてお礼を申し上げます。今年の3月に第3期生が、IT情報分野のみならず、製造業、金融業等の幅広い分野へと飛び立っていきました。データサイエンスを学びたいという高校生、大学生、社会人が年々増加しておりますが、こうした社会からの需要に応えるためにも、学部の教育・研究の充実に努力していきたいと考えております。今年一年、よろしくお願ひ申し上げます。

大学院データサイエンス研究科研究科長挨拶

清水昌平

2019年4月にスタートしたデータサイエンス研究科博士前期課程も5年目となり、2020年4月に開設した博士後期課程も昨年度で完成年度を迎えました。本年度はさらに文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育の全国展開の推進」拠点校として、授業の全国配信を視野に新規授業を開講します。本学はデータサイエンス教育研究拠点として国内最大規模の多様な領域の教員・研究者を擁しています。今後とも全国のデータサイエンス・AI教育を先導し、社会で即戦力となるデータサイエンスの育成を推し進めていきます。

経済学部副部長挨拶

総務・企画担当 松下京平

大学院改組を担当しています。来年度から、博士前期課程において、経営分析学専攻を新たに設置予定です(それに伴いグローバル・ファイナンス専攻は廃止)。経営分析に必要な経営学等の知識を有し、かつ高度なデータ分析が可能な人材養成といった社会ニーズに応えられるようしっかりと大学院改組に取り組んでいきたいと思ひます。

学務・学生生活担当

森 宏一郎

アフターコロナと言うには早いかもしれませんが、実質的にコロナ前の状況に戻りました。コロナ禍で新しい授業方法が生まれ、授業に多様性が生まれたところもあります。再び落ち着いた状況に戻って、生まれた多様性が新たな教育上の革新をどのように生み出すのかが問われているかもしれません。

入試・広報担当 谷上亜紀

経済学部における来年度に向けての入試では、特別選抜の名称など若干の変更はありますが、大幅に変わることはありません。世の中の動きに伴って入試制度も変わってゆきますが、入試において重要なことは、受験生が戸惑うことなく安心して受験できることだと思ひますので、そうできるような努めてまいります。

大学院経済学研究科副研究科長挨拶

喜田昌樹

この度、経済学研究科副研究科長を拝命しました喜田です。リカレント教育やDX推進の重要性が高まる中、経済学・会計学・経営学とデータサイエンスとの接点となる領域(経営分析学)を模索するプログラムの開発を行い、その普及を進めていく所存です。ご支援賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

データサイエンス学部副学部長挨拶

総務・企画担当 佐藤 正昭

引き続き、総務・企画担当を拝命しております。Society5.0時代を牽引するデータサイエンス分野において、昨年度から、第4期中期目標・中期計画に基づく大学運営が行われています。また、新たに、研究力向上のための学部横断的な施設整備も予定されています。教育の質保証の面にも注力しながら、滋賀大学の務めを果たしてまいります。ご支援をよろしくお願ひ申し上げます。

学務・学生生活担当 佐藤 健一

マスク着用も個人の判断が基本となり、講義でもマスクのない笑顔が見受けられるようになりました。高校での情報I、情報IIの履修に加

え、生成系AIの登場もデータサイエンスの学習に少なからず影響が出てくると思われまふ。日進月歩の分野ではありますが、学生が社会に出て活躍できるように学習基盤の整備に努めたいと思ひます。

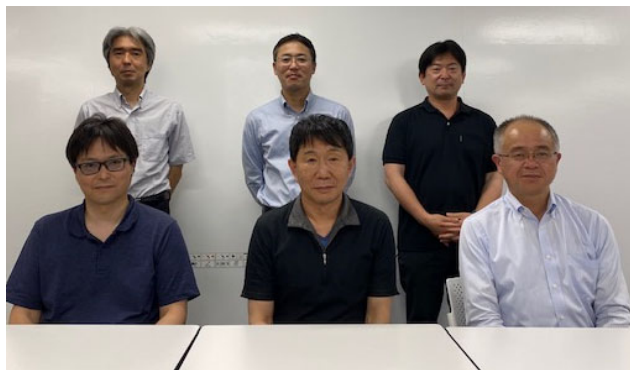
入試・広報担当 杉本知之

本学でのデータサイエンス学部開設以降、本学をモデルケースとして、全国でデータサイエンス系学部・学科が次々と新設され、今後増加する見込みです。この状況は社会のニーズの高さによりますが、様々な方々による広報活動等に支えられたおかげです。文理融合と新たな価値創造に興味ある学生が入学できるように入試・広報活動をより良くしていきたいと思ひます。

大学院データサイエンス研究科副研究科長挨拶

佐藤 智和

昨年度に引き続き、学務担当の副研究科長を担当いたします。データサイエンス研究科では、社会人派遣学生に配慮し、ほとんどの講義をオンライン参加と対面参加を選択可能なハイブリッド方式としています。滋賀大学からより多くの高度人材を輩出することを目指し、今年度は、既に研究実績がある社会人に向けた1年制の博士後期課程プログラムを立ち上げるなど大学院の更なる拡充を図って参ります。引き続きのご支援をお願いいたします。



後列: 佐藤(智)副研究科長 杉本 佐藤(健) 各副学部長
前列: 清水研究科長 椎名学部長 佐藤(正)副学部長



後列: 松下 谷上 森 各副学部長
前列: 喜田副研究科長 中野学部長

経済学部

令和5年度入学式



竹村学長からの式辞

4月5日、大津市びわ湖ホールにて令和5年度滋賀大学入学式を挙行了しました。今年度は教育学部243名、経済学部506名、データサイエンス学部100名、大学院教育学研究科専門職学位課程26名、大学院経済学研究科博士前期課程21名、大学院経済学研究科博士後期課程4名、大学院データサイエンス研究科博士前期課程50名、大学院データサイエンス研究科博士後期課程3名、特別支援教育専攻科8名の計961名が新たな学生生活をスタートしました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今年度も学部（3学部を2グループ）と大学院・専攻科に分散して開催し、同時に式典のライブ配信を行いました。

今年度は4年ぶりに新入生の保護者の方の式典への参加も可能となり、新入生の門出を祝われまし

式典は、入学生宣誓、来賓の祝辞、在学生による歓迎の辞、役職員の紹介の順で進行しました。また、竹村学長からの式辞では最後に大学で学ぶことについて述べられました。「大学での学びと高校までの学びの一つの大きな違いは、正解があるかないかという点にあると思います。高校までの学びでは、入学試験対策という観点からも、試験問題を解くことに重点が置かれがちだったのではないのでしょうか。それぞれの試験問題には正解があり、それを早く見つけるといふ訓練をしてきたと思います。一方で、大学で学ぶ学問では、多岐選択で選ぶような唯一の正解はありません。我々の生きている世界は複雑であり、現実の問題には唯一の正解はありません。例えば、コロナ禍の中でも、感染対策を重視するのか、経済活動を重視するのかで議論が分かれ、唯一これが正解というものはなかったと思います。また大学学部から大学院に進む段階では、問題自体を見つめる、あるいは問題を定式化するという作業が本質的となります。大学では、短時間で答えを見つめる必要はありません。皆さんそれぞれが問題意識を持って社会や自然の様々な問題についてじっくり考え、その解決を考えて行っていたらと思います。冒頭にも言いましたように、世界は未曾有の変化に見舞われており、不確実性が高まり、正解がますます求めにくくなっています。そのような時こそ、大学での学びが重要になると思います。これまでの試験対策という頭を切り替えて、大学での新たな学びに挑戦していただきたいと思えます。世界が未曾有の変化に見舞われるなか、皆さんが滋賀大学で学ぶなかで、自分と社会の未来について考え、未来を切り開く人材に育ってくださることを願っています。」



在校生による歓迎の辞

新入生の皆さんが今後、本学で勉学に励み、充実した大学生生活を送ることを願っています。



会場の様子



入学生代表の宣誓

令和5年度 入学状況

入学試験状況

学部名		定員	志願者	受験者	合格者	入学者
経済学部	昼間主コース	410	2,165	1,204	518	433
	夜間主コース	50	100	96	57	44
	3年次編入	20	88	88	34	25
データサイエンス学部		100	461	321	113	100

【大学院】

研究科名		定員	志願者	受験者	合格者	入学者
経済学研究科	博士前期課程	32	41	40	25	21
	博士後期課程	3	6	5	4	4
データサイエンス研究科	博士前期課程	40	81	81	53	50
	博士後期課程	3	4	4	3	3

滋賀大学入学者一覧

経済学部		502(*)	
データサイエンス学部		100	
教育学部		243	
大学院	経済学研究科	博士前期課程	21
		博士後期課程	4
	データサイエンス研究科	博士前期課程	50
		博士後期課程	3
	教育学研究科	教職大学院	26
	特別支援教育専攻		8
入学者合計		957(*)	

* マレーシア政府派遣留学生等4名は外数

都道府県別入学者数

【経済学部(3年次編入は除く)】

北海道	8	1.7%	長野県	1	0.2%	鳥取県	4	0.8%	長崎県	3	0.6%
青森県	1	0.2%	岐阜県	31	6.6%	島根県	4	0.8%	熊本県	2	0.4%
秋田県	1	0.2%	静岡県	9	2.0%	岡山県	12	2.5%	大分県	1	0.2%
茨城県	2	0.4%	愛知県	71	15.0%	広島県	6	1.3%	宮崎県	2	0.4%
群馬県	1	0.2%	三重県	12	2.5%	山口県	3	0.6%	鹿児島県	2	0.4%
埼玉県	1	0.2%	滋賀県	75	15.7%	徳島県	1	0.2%	沖縄県	2	0.4%
千葉県	3	0.6%	京都府	60	12.6%	香川県	6	1.3%	留学生	6	1.3%
新潟県	1	0.2%	大阪府	54	11.3%	愛媛県	6	1.3%	その他	4	0.8%
富山県	2	0.4%	兵庫県	44	9.2%	高知県	2	0.4%			
石川県	3	0.6%	奈良県	15	3.1%	福岡県	6	1.3%			
福井県	7	1.5%	和歌山県	1	0.2%	佐賀県	2	0.4%	合計	477	100.0%

【データサイエンス学部】

北海道	3	3.0%	福井県	3	3.0%	島根県	1	1.0%	鹿児島県	1	1.0%
宮城県	1	1.0%	静岡県	3	3.0%	広島県	3	3.0%	沖縄県	3	3.0%
茨城県	2	2.0%	愛知県	10	10.0%	山口県	1	1.0%			
埼玉県	1	1.0%	滋賀県	28	28.0%	香川県	1	1.0%			
東京都	1	1.0%	京都府	10	10.0%	愛媛県	1	1.0%			
神奈川県	2	2.0%	大阪府	6	6.0%	佐賀県	1	1.0%			
富山県	1	1.0%	兵庫県	9	9.0%	大分県	3	3.0%			
石川県	1	1.0%	奈良県	3	3.0%	宮崎県	1	1.0%	合計	100	100.0%

大学紹介

経済学部の現況

経済学部長

中野 桂

●入学者の状況

総合経済学科の1学科となつてはじめてとなる今年度の入学者数は、昼間主が433名(定員410名)、夜間主が44名(定員50名)となりました。また3年次編入は25名(定員20名)でした。

前期日程(定員172名)と後期日程(150名)を合わせた一般選抜の定員322名に対して、志願者数は1995名で昨年の2217名より約10%減少しました。受験者数は1038名、合格者数は440名でした。受験者数に対する合格者数でみた倍率は、前期日程の国外型で1.7倍(3.0倍)、後期日程の国外型で2.2倍(3.1倍)、数外型で2.8倍(2.3倍)となりました(カッコ内は前年)。

昼間主における志願者の内訳を見ると、今年は京都府(14.9%)が最も多く、続いて愛知県(13.8%)、大阪府(13.6%)、滋賀県(10.3%)、兵庫県(9.9%)、岐阜県(4.5%)という

結果でした。これらの府県で全体の7割近くを占めます。入学者数については、愛知県(16.2%)、滋賀県(15.2%)、京都府(13.3%)、大阪府(10.8%)、兵庫県(9.4%)、岐阜県(6.1%)で、7割以上を占めます。近畿地区と中部地区という分け方で見ると、近畿が51.5%、中部が27.4%となり、彦根の地理的条件をよく表す結果となっています(カッコ内は私費留学生を除いた割合)。

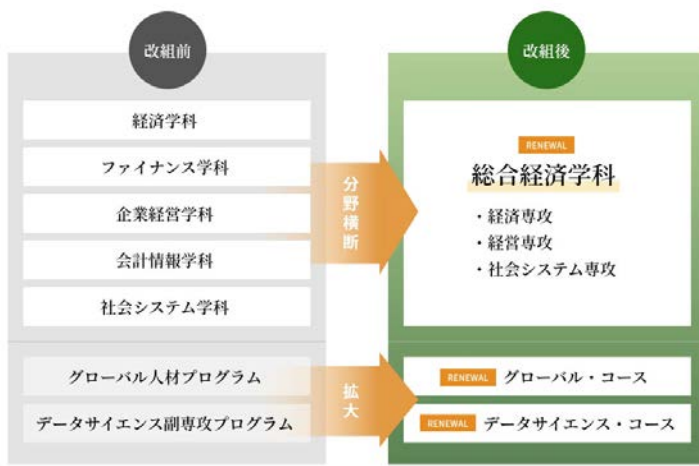
なお、大学院については、博士前期課程(定員32名)には41名の出願があり、21名が入学しました。博士後期課程(定員3名)には6名の出願があり、4名が入学しました。

●新カリキュラムの開始

1学科制への移行にともない、広くさまざまな分野を学んだのちに、3年生になる段階で経済学専攻、経営学専攻、社会システム専攻のいずれかの専攻分野を選択する制度(レイトスペシヤライゼーション制)が、今年度の新入生より適用されています。この制度は、複雑化し変化の激しい現代にあつて、学問分野を細切れにするのではなく、幅広く学び、それらを融合する柔軟な力を持つた人材の育成をはかることを目的としています。

加えて、データサイエンス・コースとグローバル・コースもこれまでの内容を刷新して新たにスタートしました。データサイエンス・コース

ではデータサイエンス学部の科目を一定数取りながら、経済・経営・社会システムなどの専門分野を融合させて、データ活用能力を持つ多面的・多様な人材の育成を目指します。グローバル・コースでは語学力の向上はもちろん、特別なプロジェクト科目や国内外の研修を通じて、経済・ビジネスの専門知識とコミュニケーション力を併せ持ったグローバル人材の輩出を目指します。いずれも入学時の選抜だけではなく、グローバル・コースについては第1セメスター終了時、データサイエンス・コースについては第3セメ



ター終了時に追加の募集がありますので、多くの学生にチャレンジしてもらいたいと思います。

●大学院—経営分析学専攻の設置

経済学研究科においては2024年度に改組を予定しています。具体的には、グローバルファイナンス専攻を廃止し、新たに経営分析学専攻を設置する計画です。経営分析学は英語ではBusiness Analyticsと訳され、データ分析を重視するという点でこれまでの「経営分析(Business Analytics)」とは一線を画すると言われます。これまでであったデータサイエンス副専攻をさらに強化して、経営分析学専攻では、データサイエンス研究科の教員が副指導に入り、データを用いたより実践的演習を行うなどする予定です。これまでであった社会人向けの1年制コース「ビジネス・データサイエンス専修プログラム」などと共に、全国的にも注目のプログラムとなることが期待されます。

滋賀大学経済学部・経済学研究科は、これからも時代の流れを見据えながら、すべての人々が平和で豊かな人生を歩んでいくために必要な教育プログラムを提供していきたいと考えています。

データサイエンス学部の現況

データサイエンス学部長

椎名 洋

●入学者の状況

今年度4月の入学者は、100名でありました(入試の面から見ますと、受験者321人に対して、合格者が113人で、実質倍率が約2.8倍でした)。例年と同様、近畿地方からの入学者が多く、滋賀県(28名)、京都府(10名)、兵庫県(9名)、大阪府(6名)、奈良(3名)となります。それに対して、東海地区からの入学者が少なく、愛知県は10名と多いのですが、岐阜県に至っては隣県にも関わらず、一人もおりません(一昨年度は10名いました)。

一方、創設時には4割程度いた文系出身者が徐々に減って、今年は4人に1人程度の割合になっています。文理融合のカリキュラム(情報学や統計学の体系的な知識・技能の習得+価値創造・発見とその伝達という文系的な活動の訓練)を掲げているDS学部としては、もう少し文系の学生がいてもよいかと考えています。

●授業の状況

新型コロナウイルス感染症が第五類に引き下げられたことに伴い、大学の授業も対面が基本となりました。その影響により、キャンパスに

来る学生が非常に増えています。活気にあふれて、大学らしい風景が戻ってきたことは大変嬉しいことですが、一方で、昼食時間の食堂に長蛇の列ができ、実質的な昼休みの時間がかなり短くなってしまっています。席数も十分でないので、友達同士で集まって食事をとることも難しくなっています。大学でゆっくりおしゃべりしながら、昼ご飯を食べるという大学生活の大事な一コマがかなわない現状を憂慮しています。

●就職

3月に、学部の第三期生が卒業しました。民間企業の業界別にみると、情報・通信、IT、コンサルティングなどの情報産業系への就職が約3割、製造業系が約2割、卸売・小売業系が約1割、それ以外(運輸業、金融・保険業、建設業等)の業界に約4割となっています。一方、官公庁に4名が進み、大学院進学は18名(うち、滋賀大学DS研究科に13名)となっています。社会の様々な場所で、DX化が進む過程で、データマネジメントやデータアナリシスを外注していた企業が、それらの業務を内生化していくようになっていきます。このことを反映して、年々、非IT系への就職が増えていますが、今年もさらにその傾向が強まりました。

●大学院

大学院については、博士前期課程

に50人が、博士後期課程に3人の入学者がありました。博士前期課程入学者のうち、20人が企業からの派遣です。また、他大学から16名の入学者がありました。このように、大学院では、本学部出身者以外の学生の方が多く、企業派遣・他大学卒のほとんどの方はデータサイエンス以外の学部卒の方です。このように、異なるバックグラウンドの方が、お互いに切磋琢磨するなかで、情報交換・人的交流が進むことが、本研究科の大きな魅力かと思えます。社会人のリスクリングの需要が年々高まってきていますので、企業からの派遣も一層増えてくるかと思えます。また、他大学卒の方の本大学院への進学も増加傾向ですが、我々としては、内部進学の学生ももう少し増やしたいと考えております。

●社会貢献

DS学部は数理・DS・AI教育強化の拠点校(11校)の一つに選ばれています。拠点校の任務として、DS分野の教材づくりがあります。昨年度もスタッフの努力の結果、以下のような本が刊行されました。

- 1) 「Excelで学べるデータサイエンス入門講義」、笹田薫、松井秀俊著、2022年11月発行、日経BP
- 2) 「Statistical Causal Discovery: LINGAM Approach」、Shohei Shimizu 著、2022年9月発行、Springer Tokyo
- 3) 「多変量解析」、松井秀俊著、

学術図書出版社、2023年3月発行

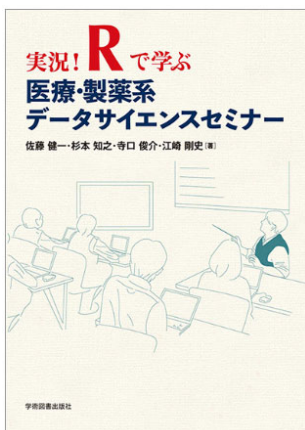
4) 「はじめてのデータサイエンス」、滋賀大学データサイエンス学部・山梨学院大学「3Dリテラシー教育チーム」共編、2023年3月発行、学術図書出版社

5) 「データサイエンスと機械学習理論からPythonによる実装まで」、D. P. Kroese, Z. I. Botev, T. Taimre, R. Vaisman 著、松井秀俊、来嶋秀治ら翻訳、2022年12月発行、東京化学同人

6) 「ケモインフォマティクスにおけるデータ解析の進め方と具体的な応用法」、江崎剛史他著、2023年3月発行、技術情報協会

7) 「実況! Rで学ぶ医療・製薬系データサイエンスセミナー」

佐藤健一、杉本知之、寺口俊介、江崎剛史 著、2023年4月発行、学術図書出版社



学生活動だより

漕艇部が朝日レガッタの一般女子シングルスカルを優勝

5月3日(水)～6日(土)、関西みらいローイングセンター(滋賀県立琵琶湖漕艇場)で行われた朝日レガッタにおいて、経済学部・データサイエンス学部の漕艇部が一般女子シングルスカルの決勝に進出し、優勝しました。

朝日レガッタでの優勝は、滋賀大学漕艇部の歴史上初の快挙です。

《選手》

- 西村菜々花さん(3) DS学部
- 《スタツフ》
- 山越由華里さん(3) 経済学部

表彰式
喜び合う西村さん(左)と山越さん



新入生歓迎マラソン開催報告

5月13日(土)、滋賀大学体育会伝統行事の一つ、「新入生歓迎マラソン2023」を開催しました。新入生の交流も図るこのイベントですが、皆さんつらい中でも笑顔を決めず楽しんで参加されていたのが印象的でした。

当日は彦根キャンパス運動場を出発し、金亀公園、彦根城をめぐる約6キロを新入生、在校生、教職員が駆け、日ごろのトレーニングの成果を大いに発揮しました。

滋賀大学体育会は、彦根キャンパスの体育会系部活と認定同好会が所属しています。今回の新入生歓迎マラソンをはじめ、秋の駅伝大会や球技大会、学内大清掃、新入生歓迎交流会、フレッシュユマンキャンプ、リーダーズトレーニングなどの企画・運営のほか、各部の活動を支援し、スポーツを通じて心身の鍛錬、学生相互の親睦を図っています。



スタートの瞬間



笑顔で快走

後援会から学生支援物品を寄贈

後援会では、日頃から課外活動支援や難関資格取得者への報奨金贈呈などの支援を行っているところですが、令和5年は彦根高商百周年記念事業の一環として、大型の学生支援物品を寄贈しました。

主に教育環境の向上をテーマに、学生が集う校舎棟前のサークルベンチ、スポーツ活動等における安全管理のための製氷機、図書館内学習環境に向上を図るための空気清浄機能力付きエアコン等の寄贈を行いました。

新学期には寄贈されたサークルベンチで談笑する学生の姿が見られたほか、製氷機は日々課外活動で利用されるなど寄贈物品は学生の大学生活充実大きく貢献しています。



サークルベンチ2台 (校舎棟前交流スペース)



製氷機 2台 (体育館)

海外派遣研修「シリコンバレープログラム」を新規に企画

海外渡航が可能になったことを受け、シリコンバレープログラム(シリコンバレーで学ぶイノベーションと起業家精神)が今年度から新規に実施されることになりました。

参加学生は、夏季休暇の2週間、協定校であるサンノゼ州立大学を訪れ、起業家精神に係る座学の他、Google、Intel、Appleなど超有名企業への訪問、フィールドワーク、研修に取り組みます。航空運賃の高騰などにより学生が研修参加を躊躇することがないよう、後援会からも渡航費補助を行う予定です。

【プログラム概要】

- ・ 起業家精神
- ・ クリエイティブ思考
- ・ プレゼンテーション
- ・ チームビルディング
- ・ フィールドワーク
- ・ 企業訪問

➢ 企業訪問: Google, Intel, Apple, IBM, Cisco, LinkedIn, Lam Researchなどを予定しています。

➢ シリコンバレーでのインターンシップや就職活動についての情報提供。

➢ 週末には、サンフランシスコ近郊の観光、MLB野球観戦、ステイプ・ジョブズ生家の見学などを楽しむことができます。

就職活動と支援

就職支援体制について

教育・学生支援機構 特命教授

入江 直樹

平素より学生の就職支援に格別のお力添えを賜り心より御礼申し上げます。

彦根キャンパスにおける学生への就職支援体制についてご説明させていただきます。彦根キャンパスにおいては経済学部、データサイエンス学部で学ぶ学生、及び経済学研究科、データサイエンス学研究科で学ぶ大学院生に対しまして各自が選択する進路を目指すための様々な情報を提供しております。外部環境の変化、学生気質の変化に対応しながらすべての学生が希望する進路選択ができることを目標として様々なプログラムを提供いたしております。

それらのプログラムをご紹介させていただきます。

大学が整備している就職支援体制

本学では学生の就職活動をサポートするために様々なシステム、制度を導入しております。これらによって学生が効果的、効率的に就職活動を進めることができます。また学生

の就職活動を専門演習担当教官、就職委員会、就職支援室、学生支援課がこれをサポートします。それでは就職活動をサポートするシステム、制度をご紹介します。

● 滋賀大学キャンパス教育支援システム (SUCCESS: Shiga University's Campus Computer Education support System)

就職支援室ではこのシステムを利用して就職情報やインターンシップ情報についてタイムリーに情報を提供します。刻々と変化する外部情報、学内での企業説明会、企業からの連絡、滋賀大学だから持ち得る求人情報などを学生に発信しております。また自ら起業を志す学生への支援もおこなっております。学生とのコミュニケーションツールとして効果的に機能しているシステムです。

● 彦根キャンパス求人情報提供システム

自宅や下宿など彦根キャンパス外からもアクセスできる彦根キャンパス在学生専用の情報システムです。滋賀大生を採用したいという企業の求人情報とインターンシップに関する情報などを提供します。学生が企業研究のための資料として活用することもできます。客観的で正確な情報である求人票を軸に就職活動を進めることを指導しております。

● 就職支援室での就職相談

進路・就職に関する様々な相談に対応しています。毎日9時30分から16時30分まで受け付けています。面談方法は対面とオンラインとのハイブリッド形式で実施しております。主な相談内容は

- ・ 進路選択についての相談
- ・ 個人面接、集団面接の模擬訓練
- ・ エントリーシート、履歴書の添削
- ・ 求人票送付企業の紹介

などです。時間内であれば予約なしで対応しております。昨年度は443名の学生から1015件の相談がありました。

● 就職支援室での情報提供

・ 企業・団体からの求人情報・企業説明会情報をタイムリーに提供しています。

- ・ 就職活動関連の書籍・雑誌・日経新聞等が自由に閲覧できます
- ・ 大学連携及び公募型インターンシップに関する情報を整理して提供しています。
- ・ 公務員、大学院、税理士等専門職に関する情報を提供しています。

● 1回生から4回生まで幅広く実施されるキャリア教育や就職ガイダンスなどの充実した独自の支援プログラム

これらのシステム・制度を用いて学生を支援して参ります。

本学卒業生による就職支援体制

本学の同窓会組織である「陵水会」のバックアップを中心にして、以下のような支援が準備されています。

● 学内合同企業説明会

本年は3月に対面で実施し、卒業生が就職をしてお世話になっている企業で、有名大手企業中心に120社がご参加くださいました。4日間で延べ1000人の学生が参加しました。

● 陵水懇話会

卒業後25年の先輩方を中心に十数名にお見えたいただき、業界紹介を中心に働くということについてお話しただいております。特に今年には彦根高等商業学校開校から100年という記念すべき年を迎えて陵水会とのより一層の強い結び付きをいただきます。

● 陵水会計人会懇談会

伝統的に卒業生の公認会計士と税理士を多数輩出しておりますが、本学の学生たちにも志望者は沢山います。先輩たちの現役の会計士・税理士の方をお招きして、会計士・税理士の仕事、勉強の仕方などについて忌憚のない意見交換をしていただく懇談会です。

●支部別就職支援行事の開催

名古屋支部、大阪支部を中心に各支部でその地域で活動するOBが学生に地域ならではの情報を伝えるイベントを開催していただいております。コロナ禍の影響で開催が中止されておりましたが今後は復活していただける見込です。

これら以外にも学生のOB OG訪問など様々なところで卒業生の方々のご支援をいただいております。

本学の卒業生は、前身の旧制彦根高等商業学校時代からの約100年の伝統を受け継ぎ、金融・保険・商業・製造業・IT業界等全国的規模で経済界に進出し活躍しています。官公庁・教育界・学界へも進出しています。



就職状況

令和4年度就職状況について

教育・学生支援機構 特命教授

入江 直樹

令和4年度はコロナ対応に落ちつきが見られ、企業側が対面とオンラインを上手く活用し、これまで以上に効率的に採用を進めようという姿勢が見られました。説明会、書類の提出、試験、面接など、ほとんどのプロセスをオンラインで実施し、最終面接のみを対面で実施する、という形が一般的となりました。

学生が提出を求められるエントリーシートへの記載内容にも変化がありました。これまで学生は課外活動やアルバイトを中心に展開しておりましたが、コロナ禍でこれらの活動ができない中でオンラインでの大学講義が学生生活の主軸となりました。学生時代に力をいれたことは勉強、と堂々と書けるかどうか、ここが大きなポイントとなりました。コロナ禍においてもコツコツ学び続けていた学生にとっては、その成果をしっかりと評価してもらえた、そんな流れであったと思われれます。

●経済学部生の活動

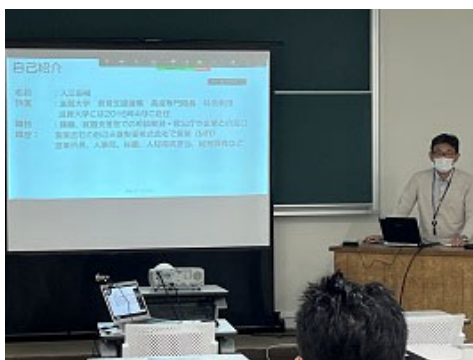
業界の選び方に変化が見られました。これまでの金融業、製造業に代わり情報IT業が業界別進路の筆頭となりました。この業界ではこれまで労働環境が悪いと言われてきましたが、最近ではいわゆるホワイト企業が多くなり、安心して働ける環境が増加しております。求人数も飛躍的に増加しており、今後も更に多くの学生がこれらの業界に進路を取るものと思われれます。また地元に戻って働くことを希望する学生も増加する傾向にあります。これにより地元の地方銀行、信用金庫などの金融機関、もしくは地元製造業に進路を取る者も増加傾向です。

●データサイエンス学部生の活動

データサイエンス学部生に対する求人はデータ分析専門企業、製造業、情報IT業、通信インフラ業など様々な業界から様々な職種で頂いています。学生も技術系専門職を目指す者、技術系総合職を目指す者、事務系総合職を目指す者と多種多様です。これらを上手くマッチングさせるのが大学の役目となっております。企業から選考される、という受け身ではなく、企業と学生とがマッチングできるか、というのがデータサイエンス学部生の就職活動のベースとなっております。

最後に

人と人が関われない、関わりにくい、という時代から適度な距離感で関わる時代、様々な情報ツールを効果的に利用していく時代に変わりつつある中で、学生がいかに自分らしく働けるか、自分らしく生きることができるか、そんな課題を持ちながら自らの進路を決定する流れになってきました。みんなと同じ、ということではなく自分らしく暮らすことができるような環境を作り出すために独自の働き方を得ることを目標にして学生と関わっていきたいと考えます。引き続き皆様方のご支援ご厚情を賜りますようお願い申し上げます。



就職活動ガイダンスの様子

○就職先内訳(産業別・業種別)

Table with 4 columns: 会社名, 計, 男, 女. Lists various companies and their employee counts, categorized by industry.

Table with 4 columns: 会社名, 計, 男, 女. Lists various companies and their employee counts, categorized by industry.

令和4年度就職状況【経済学部】

Table showing job status by gender (男子, 女子) for graduates (卒業者), students (進学者), and job seekers (就職者).

進学生・就職先一覧【経済学部】

Table listing advanced students (進学生) and their destinations (進学先) with counts by gender.

○就職先内訳(産業別・業種別)

Table with 4 columns: 会社名, 計, 男, 女. Lists various companies and their employee counts, categorized by industry.

Table with 5 columns: Company Name, Total, Male, Female. Lists companies such as 第一工業製薬, 日産化学工業, 日東電工, etc.

Table with 5 columns: Company Name, Total, Male, Female. Lists companies such as その他サービス, 旭化成アミダス, イーバリュー, etc.

令和4年度就職状況【データサイエンス学部】

Table showing enrollment statistics by route (O進路別内訳) and gender for the year 令和5年5月1日現在. Includes columns for Total, Male, and Female for various categories like 卒業者 and 進学者.

進学先・就職先一覧【データサイエンス学部】

Table showing university enrollment (進学先内訳) with columns for University Name, Total, Male, and Female. Lists institutions like 京都大学, 筑波大学, etc.

Table showing employment by industry (就職先内訳 産業界・業種別) with columns for Industry Name, Total, Male, and Female. Lists sectors like 建設業, 食料・飲料等製造, etc.

Table with 5 columns: Company Name, Total, Male, Female. Lists a wide range of companies including 三菱UFJ銀行, 三井住友トラスト, 東京海上コンプライアンス, etc.

後援会資格取得等報奨
制度について

「滋賀大学経済学部・データサイエンス学部後援会資格取得等報奨制度」は、スポーツ・文化活動、勉強等で顕著な功績を残した個人、若しくは団体を報奨することにより、学生諸君の日頃の勉強等を支援し、資質の向上に資することを目的に、平成26年度から開始した制度です。

下表に記載しておりますサポート対象基準を満たすことにより、その功績を称え報奨金を給付するもので、報奨された学生からは「更なるステップアップのための資金としたい。」等との頼もしい発言もあり、今後、多くの学生諸君からの応募を期待しております。

学生諸君には、別途、学内においてお知らせしていますが、保護者の皆さまにおかれましても、ぜひ本制度をお子様にお伝えいただきたく存じます。

今後、より良き制度に改善して行きたく、会員の皆さまからのご意見等をお待ちしております。

【お問い合わせ】

滋賀大学経済学部・データサイエンス学部共通事務部総務・企画係

TEL 0749-27-11030

滋賀大学経済学部・データサイエンス学部後援会資格取得等報奨制度

1. 趣旨

この制度は、スポーツ・文化活動、勉強等で顕著な功績を残した個人、若しくは団体を報奨することにより、学生の日頃の勉強等を支援し、資質の向上に資することを目的とする。

2. ガイドライン

滋賀大学経済学部・データサイエンス学部後援会資格取得等報奨制度の運用にあたり、次のとおりガイドラインを定める。なお、報奨額については、年度毎の申請者総数に基づき、ガイドラインに示す額を上限とし予算の範囲内において決定する。

分類	サポート対象事項	基準	報奨額 単位：円 (上限)
資格・認定試験	1. 日商簿記検定試験	「1級」合格者	70,000
	2. 税理士試験 (申請は、基準①、②のいずれか1回に限る。)	①会計学に属する科目の中から、いずれか1科目合格者	30,000
		2科目同時合格者	50,000
	3. 公認会計士試験	「短答式試験」合格者	50,000
		「論文式試験」合格者	100,000
	4. 証券アナリスト試験	「第1次レベル試験」合格者	30,000
		「第2次レベル試験」合格者	40,000
5. データベーススペシャリスト試験	合格者	50,000	
7. 統計検定	6. 品質管理検定	「1級」合格者	50,000
	「1級」の「統計数理」、「統計応用」いずれか1科目合格者	「1級」2科目合格者	20,000
		「準1級」合格者	30,000
語学試験	8. TOEIC 公開テスト(原則として編入学試験での入学者・外国人留学生は除く。)	800点以上	30,000
		900点以上	50,000
	9. 英語以外の外国語検定試験 (右記の各検定試験を対象とする。)	ドイツ語技能検定 2級以上	30,000
		実用フランス語技能検定 2級以上	30,000
		中国語検定 2級以上	30,000
		漢語水平考試 (HSK) 5級以上	30,000
		スペイン語技能検定 2級以上	30,000
		スペイン語検定 (DELE) B1以上	30,000
		韓国語能力試験 (TOPIK) 4級以上	30,000
		ハングル能力検定試験 準2級以上	30,000
		韓国語能力評価試験 (KLAT) 4級以上	30,000
ロシア語能力検定試験 2級以上	30,000		
ロシア語検定試験 (ТРКИ) 第1レベル以上	30,000		
留学	10. 本学交換留学制度に基づく海外留学 (平成31年4月1日以降出発の陵水会「グローバルリーダー育成」陵水奨学金受給者は除く。)	アジア圏	40,000
		その他	80,000
その他	11. スポーツ・文化活動、勉強等で顕著な功績を残した個人、若しくは団体、又は上記1~9に相当すると思われる事項	申請に基づき、後援会役員会で審査のうえ、決定する。	

注)

- このガイドラインは、平成26年4月1日から実施する。
- 「資格試験・認定試験」については、同一基準での申請は、学部及び大学院在籍期間中を通じ、1回限りとする。ただし、税理士試験については、基準①、②のいずれか1回限りとする。
- 「語学試験」については、同一言語での申請は、学部及び大学院在籍期間中を通じ、1回限りとする。また、試験言語を、母語とする者は申請できない。
- 編入学試験で学部に入学者及び外国人留学生在が、語学試験で申請する場合は、事前に問い合わせることとする。
- 「本学交換留学制度に基づく海外留学」については、平成31年4月1日以降出発の陵水会「グローバルリーダー育成」陵水奨学金受給者、滋賀大学経済学部学術後援基金助成金受給者及び(独)日本学生支援機構の海外留学支援制度(協定派遣)奨学金受給者で受給期間が3月を超える者は申請できない。
- 「その他」の資格申請(第2次試験合格をもって資格取得となる中小企業診断士等)の基準については、2次レベル試験合格者とし、報奨額は50,000円とする。
- 対象者は、経済学部、データサイエンス学部及び経済学研究科、データサイエンス研究科の正規の課程に在籍する学生で(休学中を含む。)在籍期間中に、後援会が定める基準を満たした者とする。ただし、入学年度の9月末日(秋学期入学の場合は、入学年度の12月末日)までに後援会費を未納の場合は対象としない。
- 報奨額については、経済学部・データサイエンス学部後援会役員会の議を経て調整することができる。
- 本ガイドラインの改廃は、経済学部・データサイエンス学部後援会役員会の議を経て決定する。

令和4年度 経済学部・データサイエンス学部後援会 収支報告

収 入		(単位：円)	
科 目	予 算 額	備 考	
前年度繰越額	16,610,039		
会費（学部生）	13,265,250	新入生563人×@23,000 編入生26人×@11,500 再入学1人×@17,250	
会費（大学院生・前期）	661,250	新入生57人×@11,500 1年制新入生1人×@ 5,750	
会費（大学院生・後期）	172,500	10人×@17,250	
利息	219		
収入合計	30,709,258		

支 出		(単位：円)		
科 目	予 算 額	支 出 額	過不足額	備 考
①厚生体育費補助	2,960,000	2,827,662	132,338	課外活動等補助
②文化活動費補助	1,320,000	1,265,547	54,453	滋大祭、課外活動等補助
③学生研究調査費補助	70,000	60,000	10,000	学生懸賞論文副賞
④学務関係補助	3,500,000	658,796	2,841,204	TOEIC-IP受験補助、成績送付経費等
⑤就職補助費	900,000	900,000	0	合同企業説明会等参加経費補助
⑥団体分担金	240,000	33,925	206,075	会費、学会開催経費等補助
⑦研究所等補助	410,000	410,000	0	資料購入、運営費等補助
⑧入学式・卒業式等経費	200,000	214,881	△ 14,881	役員会経費、その他経費補助
⑨広報費	600,000	352,320	247,680	後援会だより印刷費、送料
⑩渉外費	350,000	313,831	36,169	学部事業補助、慶弔費等
⑪総務費	30,000	45,657	△ 15,657	通信費等
⑫外国人留学生後援会援助費	100,000	100,440	△ 440	
⑬資格取得等報奨金	1,850,000	1,850,000	0	
⑭学部記念事業援助費積立	100,000	100,000	0	
⑮情報教育充実費	1,000,000	813,081	186,919	情報セキュリティ対策経費
⑯予備費	17,079,258	3,814,940	13,264,318	退会に伴う返金等
支出合計	30,709,258	13,761,080	16,948,178	

令和4年度 図書充実費予算

収 入		(単位：円)		支 出		(単位：円)	
科 目	予 算 額	備 考		科 目	予 算 額	備 考	
前年度繰越額	190,301			図書購入費等	607,291		
会費（学部生）	576,750						
会費（大学院生・前期）	28,750						
会費（大学院生・後期）	7,500			次年度繰越金	196,013		
利息	3			支出合計	803,304		
収入合計	803,304						

令和4年度 体育充実費予算

収 入		(単位：円)		支 出		(単位：円)	
科 目	予 算 額	備 考		科 目	予 算 額	備 考	
前年度繰越額	1,281,366			ゴルフ実習費等	284,746		
会費（学部生）	576,750			スキー実習経費等	331,420		
会費（大学院生・前期）	28,750						
会費（大学院生・後期）	7,500			次年度繰越金	1,278,213		
利息	13			支出合計	1,894,379		
収入合計	1,894,379						

令和4年度 資格取得等報奨金予算

収 入		(単位：円)		支 出		(単位：円)	
科 目	予 算 額	備 考		科 目	予 算 額	備 考	
前年度繰越額	2,489,701			支出額	2,512,560		
資格取得等報奨金 会費	1,850,000			次年度繰越金	1,827,163		
利息	22			支出合計	4,339,723		
収入合計	4,339,723						

令和5年度 経済学部・データサイエンス学部後援会予算

収 入

(単位:円)

科 目	予 算 額	備 考
前年度繰越額	21,311,530	(注)
会費(学部生)	14,425,000	新生564人×@25,000 編入生26人×@12,500
会費(大学院生・前期)	687,500	新生54人×@12,500 1年制・5年一貫各1人×@6,250
会費(大学院生・後期)	112,500	6人×@18,750
利息(見込)	170	
収入合計	36,536,700	

支 出

(単位:円)

科 目	予 算 額	備 考
①厚生体育費補助	3,120,000	近国体運営費、大会出場者交通費、課外活動等補助
②文化活動費補助	1,480,000	開学祭、滋大祭、課外活動等補助
③学務関係補助	2,500,000	学務関係諸経費補助、成績送付経費等
④図書充実費	800,000	図書購入費
⑤体育充実費	800,000	ゴルフ実習、スキー実習経費
⑥就職補助費	1,800,000	SPI対策講座補助、就活関連図書購入費
⑦団体分担金	240,000	会費、学会開催経費等補助
⑧研究所等補助	480,000	資料購入、運営費等補助
⑨入学式・卒業式等経費	270,000	入学式、総会経費、卒業式経費補助
⑩広報費	600,000	後援会だより印刷費、送料
⑪渉外費	350,000	学部事業補助、慶弔費等
⑫総務費	60,000	通信費等
⑬資格取得等報奨金	3,000,000	資格取得等報奨金事業
⑭情報教育充実費	1,000,000	学生用セキュリティソフト等
⑮外国人留学生援助費	100,440	外国人留学生援助金
⑯繰越金活用事業	5,000,000	繰越金活用事業
⑰学部記念事業援助費積立	1,000,000	彦根高商創立百周年記念事業等
⑱会議準備費積立	100,000	
⑲予備費	13,836,260	退会に伴う返金等
支出合計	36,536,700	

後援会総会

本後援会の通常総会は、後援会規約第14条第1項において、毎年入学式当日に開催することになっておりますが、昨今の社会情勢に鑑み、昨年度に引き続き、今年度も中止せざるを得ませんでした。この場をお借りして、改めてお詫び申し上げます。

また、本紙13、14ページ記載の「令和4年度決算、令和5年度予算案及び令和5年度役員」につきましては、同規約第13条第1項において総会でご審議頂くべきところですが、同規約第14条第3項において「通常総会が開催できないときは、役員会の開催をもって代えることができる」ことから、令和5年5月13日に開催された役員会承認とさせていただいた旨、ご報告申し上げます。新体制で後援会を益々盛り上げていく所存でおりますので、皆様、年間どうぞよろしくお願い申し上げます。

なお、内容に関するご意見・ご質問等につきましては、以下にお問い合わせください。

【お問い合わせ】滋賀大学 経済学部・データサイエンス学部共通事務部 総務・企画係 TEL 0749-27-1030

令和5年度 後援会役員名簿

会長	村 木 雅 直	幹 事	近 井 はるみ	幹 事	中 川 さゆり
副会長	堀 部 千 夏	幹 事	森 野 陽 子	幹 事	西 尾 貞 司
副会長	土 井 忠 史	幹 事	山 川 友 美	幹 事	安 積 愛 子
監 事	田 中 伸 英	幹 事	高 松 真 喜 子		
監 事	村 松 由 美	幹 事	坂 野 高 志		

編集後記

後援会だよりは次のURLでもご覧頂けます。

<https://www.econ.shiga-u.ac.jp/supporters.html>

記事の感想や要望、後援会や経済学部・DS学部に対する要望、ご意見等をお聞かせください。

(送付先)

滋賀大学

経済学部・DS学部共通事務部総務・企画係

E-mail ksyomu@biwako.shiga-u.ac.jp

FAX 0749-27-1132

令和5年度 学年暦・主要な行事(予定)

《春学期》

月	日(曜日)	授業関係	就職関係	その他
3	22(水)	成績発表(サクセス(Web)で確認)		
	3(月)			
	6(木)	入学式(びわ湖ホール)		新入留学生オリエンテーション
	5(水)	新入生オリエンテーション		
	6(木)	春学期授業開始		
	7(金)			
	22(木)		公務員志望者向け就職ガイダンス	
	15(月)・18(木)・19(金)			留学説明会(〜カモンなのにGO〜)
	9(火)		就職説明会(キックオフ宣言)(3回生)【経済学部】	
	13(土)			新入生歓迎ラウンジ
5	20(土)	授業日(土曜日の授業)		
	24(水)		就職説明会(キックオフ宣言)(3回生)【データサイエンス学部】	第28回滋賀大学グローバルセミナー 開学記念日
	30(火)			滋和2大学学長杯争奪総合定期戦結団式
	31(水)			
	3(土)			第56回滋和2大学学長杯争奪総合定期戦
	14(水)	成績優秀者表彰式		
	10(土)			
	17(土)		第1回就職ガイダンス(3回生)	
6	17(土) ~ 18(日)		第2回就職ガイダンス(3回生)	
	24(土)	授業日(水曜日の授業)	自己分析セミナー	
	上旬			
	8(土)	補講日		
	15(土)	補講日		
	17(月)	授業日		
	21(金)	春学期授業終了		
	22(土)		留学生対象就職活動ガイダンス	
	22(土)	春学期試験(予備日を含む)		
	下旬			
	8/4(金)			第29回滋賀大学グローバルセミナー
8	5(土)	夏季休業、集中講義		SFA(学生・教員協議会)
	~ 9/30(土)			第30回滋賀大学グローバルセミナー
9	中旬	成績発表(サクセス(Web)で確認)		
	下旬			

(注)変更される場合があります。

その他の情報は
大学のホームページか



滋賀大学のトップページ
<https://www.shiga-u.ac.jp/>



メニューバー
学生生活・就職



◇履修・授業
◇課外活動
◇就職・進路支援

◇奨学金・授業料免除
◇大学生活サポート

《秋学期》

(注) 変更される場合があります。

月	日(曜日)	授業関係	就職関係	その他
10	2(月) 7(土)	秋学期授業開始 経済学研究科博士後期課程D3中間研究報告会 授業日	SPI対策講座	
	9(月) 中旬 中旬 19(木) 19(木)	スポーツの日 授業日 経済学研究科博士後期課程D2研究報告会 大学院経済学研究科博士前期課程学位論文中間報告会	第3回就職ガイダンス(3回生)	定例学生総会、体育総会、文芸連総会 学内セミナー大会
11	19(木)		3回生就職希望者の個別進路面談(3回生)	
	上旬 中旬 3(金) 4(土) 下旬 下旬		第4回就職ガイダンス(3回生) 履水会計人会による学生説明会・懇談会(3回生) 第5回就職ガイダンス(3回生)	留学説明会(～カモンなのにGO～) 榎本杯争奪駅伝大会 大学祭、100周年記念式典
12	上旬 2(土) ~ 3(日)		第4回就職ガイダンス(3回生)	リーダーズトーク
	中旬 中旬 中旬 16(土) 24(日) ~ 1/3(水)	授業日(金曜日の授業) 冬季休業、集中講義	留学生対象就職ガイダンス 第6回就職ガイダンス(3回生) 第45回履水懇話会(3回生)	
1	下旬 4(木) 上旬 6(土)	授業再開 補講日	第7回就職ガイダンス(3回生)	
	12(金) ~ 14(日) 20(土) 29(月) 30(火) ~ 2/9(金)	休講及び入構禁止(大学入学共通テスト準備及びびテスト) 補講日 秋学期授業終了 秋学期試験(予備日を含む)	第8回就職ガイダンス(3回生)	
2	下旬 22(木) ~ 25(月)	入構禁止(前期日程入学試験準備及びび試験)		第32回滋賀大学グローバルセミナー SFA(学生・教員協議会)
	上旬 11(月) ~ 12(火) 25(月)	入構禁止(後期日程入学試験準備及びび試験) 卒業式(びわ湖ホール)	彦根キャンパス学内就職セミナー【学内合同企業説明会】(3回生)	
3	中旬 11(月) ~ 12(火) 25(月)			卒業祝賀会 第33回滋賀大学グローバルセミナー

これらに関することは、
こちらへお問い合わせ
ください



○授業・休学・退学に関すること
学務課教務係
0749-27-1031(ダイヤルイン)

○学生生活・クラブ活動等に関すること
学生支援課学生支援係
0749-27-7530(ダイヤルイン)

○就職・進学に関すること
学生支援課就職係
0749-27-1021(ダイヤルイン)

○留学に関すること
国際交流課
0749-27-1430(ダイヤルイン)

学務課大学院係
0749-27-1032(ダイヤルイン)

○授業料免除・奨学金に関すること
学生支援課学生支援係

就職支援室
0749-27-1033(ダイヤルイン)

障がい学生支援室
0749-27-8166(ダイヤルイン)